

新型コロナウイルス（COVID-19）

ロサンゼルス郡公衆衛生局

布製フェイスカバーに関するガイダンス

最新の更新

2020/7/17: 一方向弁付きのマスクを使用しないでください

2020/6/26: 病状のため、あるいは人と頻繁に接触する仕事に従事しているために、フェイスカバーの着用を免除されている人は、ドレープ付きフェイスシールドなどの代替品を着用する必要があります。

2020/06/19: 医療従事者から布製フェイスカバーの着用の必要がないことを指示された人は着用する必要はありません。

本文書は、生活必需品や必須サービスを手に入れるため短時間外出しなければならない場合、布製フェイスカバーを安全に使用するための公衆衛生情報を一般市民向けに提供しています。一般市民の方々は、公共や私的な場でご家族以外の人と接触する際、清潔なフェイスカバーを着用してください。布で顔を覆うことは、社会的距離措置やこまめな手洗い励行の代替策にはなりませんのでご注意ください。

コミュニティと一般市民を COVID-19 から守る最善の防御策は、こまめに手を洗うこと、洗っていない手で目、鼻、口に触れないこと、病気の人とは距離をとること、そして社会的距離措置を実践すること、特に自宅待機することです。布製フェイスカバーは、病気の蔓延を減速する効果が証明されている上記の予防策の代替策にはなりません。これは、話をする時や、咳やくしゃみをする時に口から出る飛沫に周囲の人が曝露されるのを防ぐための追加手段にすぎません。

布製フェイスカバーは、医療従事者、第一応答者、および仕事上病気の人との濃厚接触を必要とする方などによる使用は目的としていません。

布製フェイスカバーとは何ですか？

布製フェイスカバーは鼻と口を覆う素材を指します。ゴムや紐で頭に固定するか、顔の下半分に巻き付けることが可能です。綿、絹、麻など、様々な素材で作ることができます。布製フェイスカバーは、市販や手製のもの、またはスカーフ、Tシャツ、トレーナー、タオルなどの家庭用品で間に合わせてつくることが可能です。

布製フェイスカバーを着用する理由は何ですか？

最近の情報によると、鼻と口を覆うと下記の理由で COVID-19 の拡散を遅らせることができます。

- 感染者は、症状の発症前から感染力があり、当人は感染への自覚症状がない可能性があります。鼻と口を覆うことで COVID-19 の拡散を制限できます。
- 顔が布で覆われていると、顔に触れることが少なくなります。COVID-19 で汚染されたものに触れた手で顔に触れると、COVID-19 に感染する可能性が高くなります。



COVID-19 の拡散を防ぐために、布製フェイスカバーはどの程度効果的ですか？

パンデミックの際、一般市民が布製フェイスカバーを使用することで病気の感染を減らせるという証明をするには未だ限りがあります。フェイスカバーの主な役割は、体調に問題ない COVID-19 感染者も含め、会話中、または咳やくしゃみをする時に放出する大気中への飛沫を減らすことです。布製フェイスカバーは、社会的距離の確保、手洗い、自宅待機の代替策ではありませんが、これらの主要な予防策と組み合わせて利用すると役立つ可能性があります。フェイスカバーを使用する場合は、鼻と口を覆うことが重要です。会話中に鼻と口からカバーを下げると、話している時にウイルスを拡散させる可能性があるため、顔のカバーを着用する目的に反してしまいます。

以前は推奨されなかったのに、今になってなぜフェイスカバーを使用するのでしょうか？

以前は、一般市民に対し COVID-19 感染予防のためにフェイスカバーの使用は推奨されませんでした。しかし、感染者は自覚症状がなくても他人への感染が可能で、知らないうちに COVID-19 を拡散している可能性があることが分かってきています。この新しい情報は、フェイスカバーが他の人を感染から保護する可能性を示唆しています。フェイスカバーの着用は、ウイルスが混入した飛沫の拡散防止に役立ちます。

どのような場合に布製フェイスカバーを着用したらいいですか？

公共の場で周囲に人がいる場合、鼻と口を覆う布製のカバーを着用することが求められます。その場に単独でいる場合は、フェイスカバーを着用する必要はありません。布製のフェイスカバーを着用することで、他の人から社会的距離を保つ、こまめに手を洗うなどの必要性は解消されません。[公衆衛生局ウェブページ](#)に掲載されている様々な指示文書を参照して、どのような特定の場所でフェイスカバーが必要になるかをご確認ください。

どのようなフェイスカバーのオプションがありますか？

一般市民向けに好ましい、再利用可能なフェイスカバーのオプションには 次のものがあります。

- バンダナ
- ネックゲイター（ネックウォーマーのようなもの）
- 自家製のフェイスカバー
- スカーフ
- 綿の T シャツや ある特定の種類のタオルなど、しっかりと織られた生地

子供も布製フェイスカバーを着用する必要がありますか？

2 歳未満の子供（乳幼児を含む）には、布製フェイスカバーを着用させないでください。2 歳から 8 歳までの子供はフェイスカバーを着用する必要がありますが、これによって呼吸が妨げられたり、窒息することなく安全に呼吸しているかどうか大人が十分に注意を払ってください。呼吸に問題のあるお子様には、フェイスカバーを着用させないでください。

N95 マスクやサージカルマスクを代わりに使用することはできますか？

医療機関や医療従事者向けのレスピレーターやマスク（N95 レスピレーターやサージカルマスクなど）はお勧めできません。医療用レスピレーターやマスクは、COVID-19 やその他の伝染病に感染している可能性のある人にケアを提供する医療スタッフや関係者が感染予防のために使用するものです。

COVID-19 の症状を発症している人は外出するべきではありませんが、診察目的で外出しなければならない場合、医療用マスクを着用することができますが、それがない場合はフェイスカバーを代用することができます。マスクを使用する場合、一方向弁付きでないマスクにすることが重要です。

それとは対照に、一般市民に推奨されるフェイスカバーは、自分が COVID-19 に感染している自覚がないまま 他人への感染を防止することが目的です。フェイスカバーは、着用する人ではなく、感染していない人を感染から保護することが目的なので、N95 マスクや医療用マスクを使用する必要はありません。医療用レスピレーターやマスクは現在不足しており、COVID-19 感染者に安全にケアを提供するためにますます必要となります。これらの医療用品を医療提供以外の目的で使用しないことが重要です。

フェイスカバーの着用は必須ですか？

公共および私的の場で家族以外の人とやり取りするときは、すべての人たちがフェイスカバーを着用することが求められます。COVID-19 の拡散を遅らせるために個人が使用できる追加手段となりますが、社会的距離措置などの他の必須事項を代替するものではありません。2 歳未満の乳幼児や意識のない方には布製のフェイスカバーを付けないでください。呼吸に問題がある方や、補助なしではフェイスカバーを取り外せない方は、フェイスカバーを着用しないでください。医療従事者から布製フェイスカバーの着用の必要がないことを指示された人は着用する必要はありません。

病状によりフェイスカバーの着用が免除されており、他人と定期的に接触する従事者は、病状が許す場合、下端にドレープが付いたフェイスシールドなどの代替物を着用してください。あごの下にぴったりフィットするドレープが好まれます。

布製フェイスカバーはどのように手入れをしたらいいですか？

布製フェイスカバーは頻繁に、理想的には使用の度 または少なくとも毎日洗うことをお勧めします。洗剤とお湯で洗い、高温で乾燥できるまで、袋や箱に入れて保管してください。洗濯しないまま布製フェイスカバーを再着用する必要がある場合は、着用した直後に手を洗い、顔に触れないようにしてください。次のような場合は布製カバーを廃棄してください。

- 鼻と口を完全に覆わない
- ゴムや紐が伸びたり損傷している
- 顔からずれる
- 布に穴や破れがある